

令和8年熊本地震のお見舞い

2026年（令和8年）7月28日（火）16時27分頃に熊本県熊本地方の深さ16kmでマグニチュード7.1（暫定値）の地震が発生し、宇城市および氷川町で震度7が観測され、多くの甚大な被害が発生しました。

特に地震後に発生したイオンモールの爆発事故は、本当に悲惨な状況であり、地震のみならずこのような災害が発生したことに心が痛みます。

お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

地震の発生時間帯から想定すると、多くの病院で手術が行われていたと考えられます。

手術に関わる看護職を含め、多くの手術チームの驚きと苦悩は、想像を絶するものであると思います。そのような中で、チームで力を合わせて乗り越えられた皆様に深く敬意を表します。

また、余震の続く厳しい環境の中で、『JONA 災害情報システム』へのご入力ありがとうございました。被災した近隣の医療施設の現状を共有し、支援の輪を広げていただければと願っております。

被災された皆様にとって心配なのは、暑さとの戦いです。インフラが十分に機能していない中、お体に十分注意し過ごされることを願っております。

最後に、皆様のご尽力に敬意を表しながら、一日も早い復興を願っております。

令和8年7月28日

日本手術看護学会
理事長 ミルズしげ子